

## 令和4年度第2回 出雲市健康のまちづくり推進会議・食育のまちづくり推進会議 会議録（要旨）

開 会

1 金築健康福祉部長あいさつ

《省略》

2 吾郷会長あいさつ

《省略》

3 議事

(1) 出雲市健康のまちづくり基本計画の中間評価（案）について

### 議長

会議次第の3番目、議事(1)出雲市健康のまちづくり基本計画の中間評価（案）について事務局から説明をお願いします。

### 事務局

中間評価の冊子をご覧ください。前回の会議で皆さんにいただいたご意見と各ネットワーク、親子、青壮年、高齢期、食育のネットワークの会議でご意見いただきましたものを反映させて作っております。お気づきの点や取組内容としてこういったことを入れたらいいのではないかとということをご意見いただけたらと思っております。

冊子の構成ですが、1ページ目の目次をご覧ください。前の計画に沿って第1編 健康増進計画、第2編 食育推進計画、第3編 両計画の後半の推進という構成にしております。しかし、第1編の1章のところに「出雲市の健康を取り巻く状況」ということで統計を入れておりますが、これは両計画にかかるものであるということで前段にもってきてはどうかと思っておりますので、そのあたりもご意見を頂戴できたらと思っております。

《統計の説明：省略》

### 議長

統計を健康増進計画の前に持ってくるということ、統計の内容についてご質問、ご意見はないでしょうか。

前にもってくるということはよろしいでしょうか。（各委員からよしとする声）

それでは統計の説明のところで何かご質問や確認したいことがないでしょうか。

### A委員

国民健康保険の状況の14頁、1人当たりの件数というのはどういうことでしょうか。1人当たりの医療費は分かるのですが、1人当たりの受診件数というのは受診した回数ですか。

### 事務局

受診回数、件数というのは回数ととらえて良いと思います。

## A委員

年間にあらゆる医療機関を受診された回数の平均ですか。

## 事務局

そうだとおっしゃっていますが、保険年金課にもう一度確認をいたします。

## A委員

国保の人数で単純に割った数字ですよ。

## 事務局

そうだと思います。

## 議長

とすると、この図の14は横棒の線のところに18とか18.1というものが付くということですよ。回数なので。縦の棒グラフの真ん中に平成28年、18とありますが、これは受診回数ですよ。医療費が折れ線グラフで縦が件数ってことですね。

## 事務局

ただいま確認いたしまして、会議中に回答させていただきます。

【矢田課長の閉会のあいさつの中で回答】

## 議長

他にいかがでしょうか。

例えば10頁の平均寿命と健康寿命の平均寿命の上のほうですが、これも他と同じように1枚の表にされますよね。今2枚に分かれていて、令和2年と平成27年が別の表になっていますが、同じにして比べたほうが分かりやすいと思いますが、ここあたりは修正の余地があると思ってよろしいのでしょうか。

## 事務局

可能だと思います。

## 議長

もっとうしろのほうとか、何かありませんでしょうか。

B委員、いかがでしょうか。

## B委員

表6の1と6の2がパッと見てR2とH27と分かりにくいと思ったので一緒の表にして分かりやすくするとよりいいのかなと思って見させていただきました。

## 議長

最後のところで何かあったらお聞かせいただけるということにして、次に進めさせていただきます。

次に事務局から説明をお願いいたします。

## 事務局

4 1 頁からの第 3 次出雲市食育推進計画についてご説明いたします。

《第 2 編 第 3 次出雲市食育推進計画の説明：省略》

## 議長

今、ご説明いただきました食育推進計画について、ご質問やご意見をお願いいたします。併せて、2 つの指標についてもご意見をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

## C 委員

現状と課題のところの栄養バランスが優れた日本型食生活を実践しようというところの一番下「後期高齢者の低栄養者の割合が減少しました」とあるのですが、これはどこからの数値でしょうか。

## 事務局

食育計画のところの指標ではなくて、健康増進計画の部分の指標で、冊子では 1 7 頁のところにあります。指標として低栄養者割合の減少というものがあって、これは高齢者の介護保険の事業計画などを策定する際に圏域ごとのニーズ調査がなされ、身長と体重などを書かれるのですが、そこから BMI が計算されて、その指標をもとに出している指標になります。

## A 委員

後期高齢者の歯科口腔健診のデータではないのですか。

## 事務局

5 年前に指標として入れた際にはニーズ調査からの指標として出ております。後期高齢者の健診からのデータではないです。

## 議長

BMI で低栄養の判断ですか。

## A 委員

後期高齢者の歯科口腔健診というものを 7 5 歳以上の方を対象に毎年やっけていまして、その中に低栄養の項目があります。その場合は、BMI とふくらはぎの太さとか握力を測った

りして、複数の項目の中から該当する人が低栄養になるという広域連合がやっている健診ですが、それとはちょっと違うと思いますが。

#### 議長

いかがでしょうか。

#### C委員

どうやってこの割合が出たのかというところが分からなかったので質問させていただきました。

#### 議長

ここは少し加筆していただいたほうが良いということですね。他には数値がいくらからいくらに変わったということもありますし、低栄養という定義がかなり医学的な定義になるので、BMIだけで判断されると違和感があって、もう少し誤解がなく記載してあるといいのかなと感じたところです。C委員もそうですね。

#### C委員

はい。

#### 議長

他にいかがでしょうか。

D委員、いかがでしょうか。

#### D委員

病気とかは食事の塩分が基であることが多いと思います。長野県はある先生が減塩で栄養指導をして、かなり健康の面でのバロメーターが上のほうになっていますので、食育も健康も含めてお医者さんに協力してもらったらどうかと思っています。

#### 議長

指標の見直し案について、2つご提案いただいておりますが、これについてはよろしいでしょうか。

食育では毎日朝食といったように少しきちんと書いていくことと、食品ロス軽減のことと分けて記載していただいておりますが、目標の変更等についてはいかがでしょうか。見直し案、指標はよろしいですか。(他委員から良しの声)

指標の変更は皆さん異議なしということで、引き続き進めていきたいと思っています。

続いては、健康増進計画について事務局から説明お願いいたします。

#### 事務局

健康増進計画の栄養・食生活についてご説明いたします。

## 《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価（2）栄養・食生活の説明：省略》

### 議長

健康増進計画の栄養・食生活について、ご質問、ご意見はないでしょうか。

また、新たに指標として必要と考えられるものがあつたらご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

### A委員

現状と課題のところの若い世代、働き世代の食習慣の課題に含まれるかと思いますが、斐川にある企業で若者たちがたくさん働いていると思いますが、3交代制でなかなか健康的な生活を送ることが困難ではないかと。その辺を重点的に何か対策を考えられたほうがいいのではないかと思います。

### 議長

出雲には大きな企業があつて確かだと思います。そのあたり事務局からいかがでしょうか。

### 事務局

斐川の企業さんとは、以前、職域で会議を開いて状況などを聞いています。そこにも保健師がいるので、例えば夜勤に入る前に夜勤に入った生活ということで指導したり、いかに眠っていくかというようなことを事前にお話したり、相談したりということは聞いています。大きな企業の衛生管理者との連絡会を持っていたこともあるので、話はしていけると思いますが、どの切り口でいったらいいか。

### 議長

行政がすることの中に関係機関との連携もありますが、その中に産業保健という分野が入ってくるといいかなと思いましたが、どうでしょうか。

### 事務局

出雲市においては、令和2年度から働きざかりの健康づくり推進連絡会というものを立ち上げ、県の協会けんぽ、島根県産業保健総合センター、出雲保健所、市の商工推進課、産業政策課と少しずつ連携をとりながら各事業所へ情報発信をしているところです。まだあまり進んではおりませんが、少しずつ連携をとりながらお互いに情報共有をして、課題解決に向けて話し合っているところです。

### 議長

進んでいるものは少しPR、書いてもらってもいいのかなと思いましたが。

### B委員

島根県においても働きざかり世代の健康課題というところは重点的に取り組んでいかない

といけないということで、出雲市さんと連携を図りながら会議の場などでも健康課題の共有化を図っております。具体的には食、栄養、ウォーキングなど、様々な取り組みも進めてきているところです。

#### 議長

やっていることを加筆してもらったほうがいいということですね。

#### B委員

現状と課題のところの書き方について少しお願いがあります。大項目が少し読みにくいなと思っております、ライフステージごとにも対策を進めていращやるということですので、学齢期・思春期が最初にあり、次は20代、30代の若者の課題、それから高齢者の課題というところを先に持ってきて、あと疾病ということで肥満メタボリックシンドロームのところ、最後に新型コロナの関係をもってくるといった、少し現状と課題の大項目の入れ替えをしていただいたほうが読みやすいのかなと思いました。

#### 議長

他もあるかもしれません。ライフサイクルをきちんと述べた後に全体に係るものを載せるという方針で読み取っていくことでよろしいでしょうか。

指標の追加については、大丈夫でしょうか。

新たな指標についての要望はないということで進めていきたいと思えます。

#### 事務局

指標のフレイルの部分ですが、これまでの評価ということで5年前と同じ調査の仕方で低栄養を評価しているのですが、先ほどA委員が言われたように歯科の健診の結果から抽出しているので、ご意見があればそちらに変えたほうがいいのか、事務局でも悩みどころではあったのですが、いかがでしょうか。

#### 議長

低栄養と書くなら低栄養の指標だと思っていて、低栄養と言いながらBMIだけで判断するのは違和感がすごくあるので、そうすると低栄養という書き方を変えたほうがいいような気も致しております。

#### A委員

低栄養の定義がはっきりしているのならそれに則った表現ということになるので、やっぱりBMIだけならBMIの現状とか、そういう表現になるのでしょうか。

#### 議長

今までのこともありますので、どちらかというよりも今までのことを踏まえて低栄養という単語を変えるのか、それとも指標のところを少し丁寧に書いて合わせるのかということに

なるかと思えます。

### A委員

歯科口腔健診は、検査項目が去年から変わったので、5年前と比較できないかもしれない。これでいくと使えないかもしれないですね。

### 事務局

もう一度事務局のほうで考えさせてもらって決めるということによろしいですか。

### 議長

委員は事務局に一任でいいですね。事務局のほうで違和感ないところでまとめていただければと思います。よろしくお願いいたします。では、続いて、事務局の方から説明をお願いしてよろしいでしょうか。

### 事務局

運動・身体活動についてご説明いたします。

最初に修正2点お願いします。

19から22頁が運動のところですが、21頁の今後の重点取組、基本目標の2番目の「環境の変化に応じた自分に合った」という部分を「環境に応じた」ということで「変化」を消していただきたいのと、22頁の地域・関係機関の取組の1番下、「運動づくり」の「づくり」を消していただきたいと思います。

《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価（3）運動・身体活動の説明：省略》

### 議長

運動・身体活動について、ご質問、ご意見をお願いいたします。

E委員、いかがでしょうか。

### E委員

スポーツの中にはe-sportという新しいようなものが出てきて、学校でも部活動に採用されるなどの動きもあつたりします。コロナ禍にあつてはユーチューブを見て一緒にヨガをする、一緒にダンスをする、そういう方々も若い方では増えており、また、民間のフィットネスジムがたくさん出店されていて賑わっているということも聞いています。なので、ノーメディアが行き過ぎないようなところでおさまるといいのではないかと。メディアを使ってスポーツをしている人もいるということもありますので、違う角度から見たときに誤解があるといけないなと思うので、ここの表現は気をつけておいたほうがいいのかもかもしれません。そういうものを活用して運動してもらおうということもありだと思えますので。

### 議長

確かにe-sportも進んできているので、子どものメディアとの接触で運動のところ

にここが入っていると思います。メディアだけで一つにはくくれないからだと思っていますが、入る場所も含めて、運動がいいのかどこか他にいいところがあるのかと思っていますが。

### E委員

e-sportそのものは、今ここであがっている身体活動ということではないというのが前提だと思います。いろんなスポーツのとらえ方があって、身体活動ではないものだと私も思っていて、もっと違うものだと思います。委員の皆さまが読まれて、そういう誤解がないということであれば、OKだと思います。ただ、運動ときてメディアとくると、すぐe-sportに繋がってしまう市民の方もいらっしゃると思うので。

### 議長

指標のほうに、運動している人の割合の増加にe-sportをしている人は入らないということにはならないような気がするのですが、いかがでしょうか。

### E委員

まだスポーツ界でもe-sportは体を動かす身体活動として、スポーツ競技として認めるか認めないか曖昧なところですので、ここではe-sportを運動ととらえないほうが良くて、自らの身体活動、体を動かすことととらえたほうが自然だと思います。むしろe-sportとかは、ここから外してコミュニケーションツールの1つとしてのとらえ方をしたという前提にしておいて、このノーメディアというのは、動画等のスポーツのツールを使うことで、自分の体、身体活動に繋がるということにしておいてほしいと思うので、「ノーメディアに取り組む日時をつくりましょう」というのは私にとっては新しい言葉なので、昔で言うと、テレビを見ない時間を作りましょうとか、それと同じでゲームをする時間を決めるとか、今日はゲームをしない日にしようとか、そういう意味ですよ。

### 議長

全部包含してノーメディアですよ。

### E委員

素直に読めば入るけど、ノーメディアってどこまでかこだわる人はこだわるかもしれないなど。それならゲームをしない日をつくりましょうとか、どうなのでしょうかね。

### 事務局

ノーメディアについていろんなご意見があって、でも諦めたらいけないのではないかと、あえてここに残してみたのですが、言いたいこととしては、2つ目の点の「ちゃんとルール化をしよう」というところの中の1個飛び出してノーメディアっていうところをやりましたので、これが実態に即さない、現状に合っていないということであれば、2つ目の点のルールづくりというところにすべて包含させてもいいかなと。色々試行錯誤だったですが、誤解を招くような表現なのであれば、1つ目の点というところを見直すのもありだと、

思っているところです。

## F委員

1番目にノーメディアが出たからきつかったかと。私は2番目にしたらいいのかなと思います。メディアについては、既にメディアで困っているお家もあれば、逆に今からスタートする子ども達もいて、これから先を見通すと、今からスタートする子ども達をどのようにしていくかということをしてあげば、先々上手くいくのではないかと。一度始まったものはなかなか変えることが出来ないのと、そっちが大事なのかなとは思っています。「メディア利用について」とすると既にメディアを利用していることについてのルールなので、「メディア利用の際は」くらいにして、ルールを作りましょうとすれば両方入るかなとか色々考えながら。それを1番にして次にノーメディアで日時をつくりましょうっていうと、本当に具体的すぎるので、最後に家族とふれあいの時間をつくりましょう、のようにまとめたらどうかと思ったのですが、表現は難しいですが、家族でノーメディアに取り組む時間を設けてふれあいを深めましょうとかそんな感じでどうでしょうか。

## 議長

運動・身体活動の項目なので、今のご意見を聞いていて、最初に運動がきたほうがいいだろうなと思っていて、それで運動するためにメディアによって一人でもってしまわないよという意図があったと思いますので、順番替えただけでだいぶ違うかなと。それから「日時を作りましょう」の日時って難しいと思っていて、これからiPadの教育が進むと必ず子どもたちは、平日は触るし宿題が出るしということが進んでくるので、日や時間帯を、夜のこの時間だけはみたいに、ある意味2つ目のルールづくりになるのかもしれませんが、そんな意図だと誤解はないかなと思いますが、他の方のご意見いかがでしょうか。

小汀さんいかがでしょうか。

## G委員

家族でノーメディアということ自体は、そういう日があってもいいのではないかなと思ってますし、逆に、今の子ども達はメディアを通してサッカーやりたいとか何をしたいとか色々自分の発見するものも出てきて、逆の良さもある訳で、このノーメディアというところについては、詳しく謳っておいたほうが良いのではないかなと思っております。

## 議長

解釈もいろいろとあると思います。出雲だけではないのですが、ノーメディアという言葉がベースにずっとあって、今、コロナで一気変わった気がするのと、今なしにしていいのかという気がちょっとしています。本日ご欠席の委員もありますが、地区によって取り組んでいたところもあつたりしますので、その辺の経緯も残しつつ表現を少し変えたり、誤解がない書き方を工夫する。現状と課題を見るとそれなりに書いてありますので。ただ見るときには取り組むことをパッと見てしまうと言葉が足りなかったりするのかなと思ったりもするので、その辺で少しバランスが取れるといいのかなと思いました。他にいかがでしょうか。

## H委員

21頁の下の基本目標のところは1番最初にメディア機器がくるのは私もどうかと。運動に関するこの項目なので2番目の環境の変化に応じた自分に合った運動習慣を身につけるということが先に出てきたほうがいいのではないかと。ノーメディアという言葉が先ほどからたくさん出ていますが、子どもにテレビを見るなどか、ゲームで遊ぶなどということは結構保護者に向けて啓発されているようで、この間、子ども教室で3年生の子と話をしている、それぞれの家庭でテレビとかスマホとかに向かう時間を決められているのだなと思って、結構学校からの啓発というのが浸透しているなという感想を受けました。

## 議長

評価指標についてはよろしいでしょうか。70代に限定する必要はないので全年齢というのはよろしいでしょうか。

評価指標はこれで了解するというので進めさせていただきます。

続いて事務局から説明をお願いいたします。

## 事務局

続きまして、心・休養について、説明させていただきます。24頁をご覧ください。

《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価（4）心・休養の説明：省略》

## 議長

心・休養のところでは何かご質問、ご意見はないでしょうか。

## B委員

指標のところでは、生きがいを感じる人の割合を全年齢にするといったご提案があったところですが、全年齢をどう数値として計っていくのか、案があれば教えていただけたらと思っています。

## 事務局

市民アンケートで現在もそのデータはとっており、その中で70代をピックアップしていたところだったのですが、その全年齢を指標とするという提案です。

## 議長

他にいかがでしょうか。

指標の2つ目に「ない人の割合の減少」、「ある人の割合を増やす」どちらがいいのでしょうか。同じことを聞いているのですが、どちらがスッと読めるのかなと思っていたのですが、こちら辺りもまた少しご検討いただいてもいいでしょうか。

評価指標については、表現をどちらにするかはご一任することとして、続いて事務局のほうからお願いいたします。

## 事務局

続いて26頁からの歯の健康のところをご説明いたします。

はじめに、1番の目標指標のところの訂正がありましたので修正をお願いします。

表の上から7番目です。60歳台（55～64歳）の残存歯数の増加の令和2年の数値が26.72本になっておりますが、県民残存歯数調査の数値に訂正です。24.7本の間違えでしたので訂正をお願いします。

《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価（5）歯の健康の説明：省略》

## 議長

歯の健康について、ご質問、ご意見はいかがでしょうか。

指標につきましても、目標値を決められればと思いますが、いかがでしょうか。

## A委員

指標については、1つ目の「1年間に歯科検診をした人」という言葉のニュアンスが分かりにくいのですが、これは歯科受診をした人ということですか、歯医者に行って検査をしてもらったという感じの意味合いですか。

もう1つは、「口腔機能低下のある人の割合の減少」、これは新たに設けるのか、今もあるのですか。

## 事務局

今もあります。ニーズ調査のアンケート結果の数字になるので。

## A委員

グミ15秒値の値を利用するのだったら咀嚼力の低下という表現でいいと思うのですが、口腔機能低下というのは意味合いとしては広いので、咀嚼力、噛む力とか、もう少し分かりやすくしたほうがいいのではないですか。口腔機能低下というと色々含まれてしまうので。こういう1つの数字で成績を出すのは問題があると思うのですが。噛む力にしたほうがすっきりしていいと思いますが。

## 議長

いま書かれているもの2つ載せるということですか。これが1つだということですか。割合の減少と咀嚼力リスクゼロの人の割合の増加と2つ書かれていると思うのですが。

## 事務局

ニーズ調査の数字を残したほうがいいのか、変えてしまったほうがいいのか。

## A委員

ニーズ調査というのは、アンケートですか。

## 事務局

高齢者の方へのアンケートです。

## A委員

主観的なものであれば、いらないのではないですか。客観的な数値がここでは必要だと思うので。グミの測定値の結果を載せるということでもいいのではないですか。

## 議長

今のご提案は、2つ目に係る咀嚼力リスクゼロの人の割合の増加に絞ってはどうかというご提案で、併せて、これは後期高齢者の人なので、こう書いてしまうと全員がしなければいけなくなってくるので、後期高齢者と付けておけばいいということですよ。

## A委員

そうですね。

## 議長

高齢者であることが一番大事なので、若い世代からそれに向かってやっていくというような形で調整はつくかと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(賛成の声あり)

また何かあったら最後に聞くことにして先に進めていきます。

では、続きをよろしく願いいたします。

## 事務局

続いて、タバコ・アルコールについて説明いたします。29頁のほうをご覧ください。

《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価（6）タバコ・アルコールの説明：省略》

## 議長

タバコ・アルコールについてご質問、ご意見、評価指標についてのご意見等ありませんでしょうか。

評価指標については、1つが削除、それから新たに休肝日の割合ということが入ってきていますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

評価指標につきましても案でお認めいただいたということでよろしく願いいたします。

続いて事務局から説明をお願いいたします。

## 事務局

続いて、健康管理をご説明いたします。31頁をご覧ください。

《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価（7）健康管理の説明：省略》

## 議長

健康管理についてのご質問やご意見、評価指標も新たに追加が提案されていますがご意見等いかがでしょうか。

郷原委員、いかがでしょうか。

## I 委員

この1年間に健康診断又は人間ドックを受けた人の割合と、この2年間にがん検診を受けた人の割合の増加が分けてあるのは、職場で受けていけば良いということですか。

## 事務局

がん検診や職場での受診状況がなかなか市のほうで把握できないために、今回市民アンケートでどのくらいの方ががん検診を定期的を受けているのか、そういった健診をどのくらいの方が受けているのかというのを知りたいために載せております。

## 議長

委員さんの質問は、がん検診と健康診断を分ける必要があるのかどうかというご質問だと思いますが。

## 事務局

失礼しました。がん検診は1年に1回するものと、2年に1回、受診間隔が2年に1回するものがございます。特に市民アンケートでは年齢別、男女別に分けておりまして、10代から40代までの女性の乳がんや子宮がんの受診傾向を知りたいためにこの指標をあえて載せさせていただいております。

## I 委員

わかりました。

## 議長

新たにがん検診、それから定期的な血圧測定、あとは事業所との連携が話題になっていますので、健康経営に取り組んでいる事業所とか、それからまめなカンパニーのところの数が指標にあがってきておりますが、いかがでしょうか。

特に指標についてご意見がないようですので、これでよろしいということで進めさせていただきます。

続いて事務局のほうから説明をお願いいたします。

## 事務局

感染症について、ご説明いたします。

頁でいきますと、35頁、36頁になります。

《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価（8）感染症対策の取組の説明：省略》

**議長**

感染症対策は全てのライフサイクルに該当するところで、改めて記載して下さっております。何かご意見等ないでしょうか。

**B委員**

感染症は様々なものがございます。高齢者から子どもの施設まで、それぞれの特徴に応じたような啓発あるいは対策が必要だと思っておりますので、感染症対策についても重点的な取り組みをよろしくお願いいたします。

**議長**

感染症はどうしても疾患の特徴から差別が生まれやすいところがあるので、「正確で正しい知識を」というような言葉が入るといいのかなという気がしましたが。

**事務局**

分かりました。

**議長**

続けて進めてまいりたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

**事務局**

37頁、地域力を活かした健康づくりの推進をご説明いたします。

《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価（9）地域力を活かした健康づくりの推進の説明：省略》

**議長**

ありがとうございました。

地域力を活かした健康づくりの推進についてのご意見、ご質問、評価指標についてのご意見等はありませんでしょうか。

評価指標で、ふれあいサロンについて今は必要ないということのご提案でよろしいでしょうか。あとは、地域行事、集まりについては70代だったのを全年齢で、年をとってからはなかなか出られないかなと思うと全年齢が適切かなという気は致しますが、よろしいでしょうか。

(はいの声)

では、評価指標をお認めいただいたということで続いて説明をお願いいたします。

**事務局**

では、続いて39頁、健康増進計画の総評をご説明いたします。

## 《第2章 第2次出雲市健康増進計画の中間評価 4 総評の説明：省略》

### 議長

今のところ何かお気づきのことがありますでしょうか。

今までの総括のところになっています。それから、評価指標につきましては、65歳以上75歳時、他のデータとの整合性ですので、これは適切かなと思っていますが、いかがでしょうか。

では、評価指標の見直しについてもご意見はないということで、続けてお願いいたします。

### 事務局

47頁をご覧ください。

この両計画の後半の推進でございます。

《第3編 第2次出雲市健康増進計画・第3次出雲市食育推進計画の後半の推進の説明：省略》

### 議長

推進について列挙していただいております。

お気づきのことですかご意見等ありましたらお願いします。

特にご異議はないでしょうか。

評価指標もよろしいですか。

では、全体を通して何かありますでしょうか。

### H委員

赤ちゃん声かけ訪問で歩いていると、父親の育休がすごく増えてきたように思います。今、全体でどれくらいのお父さんが育休を取られているのかなと思って。例えば市役所の職員さんはどんな感じかなと思って。

### 事務局

保健師、助産師での訪問や乳幼児健診等でも聞き取りをしていますが、それを統計的に集計していませんので、どれくらい取っておられるかは分かりかねるところです。市の職員についても若い世代で取られる方は増えてきたと感じていますが、これも統計的に分かっておりません。

### 議長

男性の育児休暇は手伝うと言ったらダメです。男性が育児をしたいから休むので、手伝うという表現では育児休暇にはなりません。是非そのあたりも意識改革があるのだと思っています。いかがでしょうか。

### H委員

ありがとうございます。

## 議長

ほかに何かご意見等ないでしょうか。

いくつかご検討いただきたいことが若干ありましたが、大体意見は出尽くしたかなと思っております。今日欠席が多かったので、欠席している委員さんにもご意見を聞かれると聞いておりますので、それを含めてまとめていただければいいように思います。引き続き、よろしく願いいたします。

では、事務局のほうにお返しします。

## 事務局

会長、ありがとうございました。

本日、委員の皆さまからたくさんご意見をいただきました。今日欠席の委員さんが半分おられますので、その委員さんにも意見を求め、その意見も踏まえて検討していきたいと思えます。そして出雲市健康のまちづくり基本計画、健康増進計画の食育推進計画の中間評価案を修正していきたいと考えております。なお、修正した計画案については、会長に確認いただいて最終版とさせていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(全委員から願いますとの声)

では、会長には引き続きお世話になりますが、よろしく願いいたします。

また、本日の会議の会議録については、まとめ次第、委員の皆様にお送りしたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは閉会にあたりまして健康増進課の矢田課長がご挨拶申し上げます。

## 矢田健康増進課長あいさつ

最後のあいさつの前に、園山先生からいただいておりました14頁の図14の件数は何ですかというおたずねについて、これはレセプトの件数ということでございます。これは何らかの形でお知らせすると同時に注釈若しくは件数という表現にしたいと思います。

《以降省略》

## 事務局

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。

## 閉 会